

## 広島市におけるAM 耐性 Salmonella Enteritidis の耐性遺伝子

橋渡 佳子<sup>\*1</sup> 石村 勝之 古田 喜美 下村 佳  
 毛利 好江<sup>\*2</sup> 佐々木敏之<sup>\*1</sup> 河本 秀一 萱島 隆之  
 平崎 和孝<sup>\*3</sup> 松本 勝 荻野 武雄

### はじめに

当所生物科学部では、本市の細菌学的な疫学情報を収集することを目的として、集団ならびに散发事例等に由来する S. Enteritidis 菌株について、薬剤感受性試験等による疫学的解析を継続している。

1999 年から 2002 年にかけては、以前にはほとんど分離されることのなかったストレプトマイシン(SM)・アンピシリン(AM)耐性、ファージ型 RD-NC-a の S. Enteritidis による集団および散发事例が認められた。一方、2002 年からは AM 耐性 S. Enteritidis の増加が認められ、2003 年も継続した。そこで、分離された AM 耐性菌株の解析を行ったので報告する。

### 方 法

#### 1 供試菌株

2002 年および 2003 年に広島市で集団食中毒事例、散发事例から分離された AM 耐性 S. Enteritidis 菌株 7 株を供試した。

#### 2 ファージ型別

ファージ型は、国立感染症研究所細菌第一部に

依頼し型別を行った。

#### 3 AM 耐性遺伝子のシーケンス

TEM 型塩基配列から作製したプライマーで PCR 増幅し、その産物をダイレクトシーケンスした。

### 結 果

#### 1 AM 耐性 S. Enteritidis のファージ型

2002 年および 2003 年に分離された AM 耐性 S. Enteritidis 7 株のファージ型は、すべて 5c に型別された。

#### 2 AM 耐性遺伝子のシーケンス結果

供試した AM 耐性 S. Enteritidis 3 株はすべて PCR 増幅した。その塩基配列は TEM-1 型を示した(表)。これらの結果から、AM 耐性遺伝子を保有した共通起源の菌と推測される S. Enteritidis ファージ型 5c の広がりが示唆された。

### 謝 辞

ファージ型別を実施していただいた国立感染症研究所細菌第一部の諸先生方に深謝いたします。

表 広島市分離AM耐性S. Enteritidisの検討結果

事例No.	発生年月	発生形態	ファージ型	PCR	AM耐性遺伝子
1	2002.4	散发	5c	NT*	NT
2	2002.8	集団	5c	NT	NT
3	2002.9	散发	5c	NT	NT
4	2002.9	集団	5c	+	TEM-1
5	2002.1	集団	5c	NT	NT
6	2002.11	集団	5c	+	NT
7	2003.7	集団	5c	+	TEM-1

\*:NT, not tested

\*1：現 社会局保健部食品保健課  
 \*2：現 市立舟入病院検査科  
 \*3：現 経済局中央卸売市場食肉市場